

へいじろう

HEIJIRŌ



2021 秋
令和3年11月10日
第59号



写真提供；地域医療連携室 坂口 健

もくじ

-  P1…泌尿器科外来より『常勤医師の紹介と診療予定のご案内』
-  P2…リハビリテーション室より『海外での活動報告会』
-  P3…認定看護師インタビュー『がん化学療法看護認定看護師に聴く』
-  P4…田上容正会長の記事が南日本新聞に掲載されました
新入職員紹介
-  P5…転倒転落防止委員会より
-  P6…診療予定表
-  P7…きらきらギャラリーの紹介／編集後記

～泌尿器科外来より～ 常勤医師のご紹介と 診療予定のご案内

2021年9月より常勤医師として、中目康彦先生が赴任され診療がスタートしました。なお、月曜は鹿児島大学病院の非常勤医師による診療を行っております。



泌尿器科医師の中目 康彦です。
出身地：西之表野首
趣味・特技：テニス・ゴルフ
気軽に話しかけて下さい。

- ・常勤医…中目 康彦（なかめやすひこ）
- ・専門分野…泌尿器科一般
- ・専門医…日本泌尿器科学会専門医
日本透析医学会専門医
- ・所属学会…日本泌尿器科学会
日本透析医学会
- ・その他…緩和ケア研修会修了
医療安全管理養成研修修了
指導医のための教育ワークショップ修了

診療内容

尿路結石、尿路感染症、排尿障害、男性機能不全、小児の泌尿器科疾患、尿路外傷、前立腺・膀胱・腎臓・尿管・精巣・陰茎などの悪性腫瘍、腎臓・副腎・後腹膜の良性腫瘍などを中心に診療しています。

治療については、手術などの外科的治療や放射線治療が必要な際には、鹿児島大学病院をはじめ、鹿児島市内の各病院と連携を取り、島民のみなさまに最善の医療を提供できる体制を整えています。

診療の予定

中目医師

- ・火曜日・木曜日・金曜日
- ・午前中

鹿児島大学病院の医師

- ・月曜日

※ 午後の診療に関しましては、
受付へお問い合わせ下さい。

～リハビリテーション室より～

『海外での活動報告会』が開催されました

令和3年10月14日（木）に当院の作業療法士上村有希子さんによる「第2回目の海外での活動報告会」がZOOMを使用し開催されました。
中米のエルサルバドルで作業療法士として活躍されていた上村さんが、どのような活動をされてきたのか、その貴重な体験を聞くことができ、大変勉強になりました。そこで、そんな上村さんにいくつか質問をさせて頂きました！



『海外で活動しようと思った動機やきっかけを教えてください』

中学校の時にJICA（国際協力機構）のパンフレット（クロスワード）をみて、国際協力を知りいつかは行きたいなと思うようになりました。

『任地について教えてください』

私はNGOで1回、JICAで2回ボランティア経験があります。直近で言えば、エルサルバドルになります。エルサルバドルは中米にある四国ぐらいの小さな国です。ラテンの国ですが、勤勉な国民性から「中米の日本」と呼ばれています。

『活動の中で忘れられない出来事がありますか』

いっぱいありすぎて…どれも忘れられない思い出です。

『活動をする上で苦労したことは何ですか』

特にはないですが…やっぱり、語学ですかね。



『活動のやりがいは何ですか』
微力ながらですが、現地の方のお役に立てていること。

『海外の活動で得たことは何ですか』
今を大切にすること。

『種子島にきた理由は何ですか』
へき地医療・島の医療を学びたいため種子島にきました。

『今後の展望や夢があれば教えてください』

一日でも早く現地に帰りたくです。そのために今できることや、今しかできないことをやっておきたいと思っています。



現在は、コロナ禍により海外での活動も制限されています。一日でも早くコロナが収束し海外での活動が出来るようになることを願わずにはいられません。



（リハビリテーション室 吉村祐佳里）

～認定看護師インタビュー～ がん化学療法看護認定看護師 山之内 信さんに聴く 『その役割について』

当院で活躍するがん化学療法看護認定看護師の山之内 信さんへお話を聞いてみました。

『がん化学療法看護認定看護師の役割について教えてください』

患者さんが安心して治療が受けられるように細心の注意を払って抗がん剤を安全に投与することだけでなく、服薬指導やセルフケアの支援、副作用対策の指導などを通して、患者さんが治療で生じる副作用や不安をできるだけ軽減し、その人らしい生活を送りながら治療を継続できるようにサポートするのが主な役割です。

それには、院内の看護師やコメディカルスタッフへがん化学療法や抗がん剤の曝露対策などの勉強会を実施したり、抗がん剤という特殊な薬剤を扱うがん治療に携わる医療スタッフを支援、指導したりすることでも大事な役目であり、院内の看護師からがん化学療法についての相談やスキルアップについての相談も受けています。



『ところで、どのような理由でがん化学療法看護認定看護師資格を取得されたのですか』

化学療法室と手術室、外来師長を兼務していた時期があり、業務に追われる日々を過ごす中で、自分は真剣に患者さん向き合えていないと感じていました。丁度その頃、当時外科部長をしていた医師からがんについて専門的にやってみないかと認定看護師の資格取得を勧められたことがきっかけです。がんのスペシャリストになることで、もともとがん患者さんに寄り添う看護ができると思いチャレンジしました。



がん教育 ～ 命の授業 ～

11月2日（火）古田小学校において、山之内さんが「がん教育 ～ 命の授業 ～」を行いました。「がんに対する正しい知識を子供たちに伝え、誤解や偏見を無くし、地域全体でその予防と早期発見に取り組んでいきたい。」そんな思いから、当院ではがん教育にも力を入れています。



～南日本新聞かごしまドクター便り～ 田上容正会長の記事が掲載されました

令和3年9月15日の南日本新聞《かごしまドクター便り》のコーナーに田上容正会長の記事が掲載されました。



51年前、郷里の種子島に帰り、小さな内科の診療所を開設しました。少しでも島の人に役立てればと思い、少し気負い立っての船出でした。いろんな疾病に当惑しながらも、産婦人科以外の診療科は、何でも手探りの状態で対応せざるを得ませんでした。

腹痛、吐血、喀血、脳卒中、骨折、切り傷、まむし咬傷など、応急手当を施し、手に負えない患者は鹿児島大学病院、市立病院など鹿児島市内の病院に送りました。

鹿児島への患者の搬送は、4時間半の貨客船や30分の飛行機に依頼しました。やがてヘリコプターでの搬送が可能になり、昼間は県防災課に、夜間は鹿児島航空自衛隊にお願いしました。

診療所開設10年目の頃より医師の派遣を受けられるようになりました。それに伴い、開腹、骨折、白内障の手術などが少しずつ可能になり、入

「本土並み」近づく

離島医療

院治療ができる「2次救急」まではどうにか対応できるようになりました。

この50年間の医学の進歩は目覚ましいものがあり、医療機器もどんどん改良され、今では開院当時と比較すると、目を見張るばかりです。

医学の進歩とともに交通手段も発達し、高速船やドクターヘリは離島にとって革命的なものだと言えます。

画像診断システムの普及は驚くばかりです。島で撮影されたコンピュータ断層撮影(CT)、磁気共鳴画像装置(MRI)の画像は、診断名がつき、30分で確定診断ができるようになりました。人工知能(AI)の発達で、ロボットによる手術も近い将来でできるような時代がすぐそこに来ている。

かくして離島の医療は本土並みの水準に近づきつつあり、医療面の格差はやがてなくなるでしょう。



(鹿児島県医師会監事、せいざん病院院長・田上容正)

◆第3水曜掲載

(南日本新聞社へ記事掲載許可申請済)

新入職員紹介



2階病棟看護師の**金 未唯**です。
出身地：大阪府
趣味・特技：写真・旅行・JAXA
人見知りしない
半年間ですが元気に頑張ります！



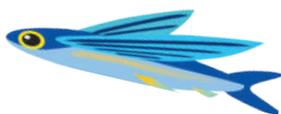
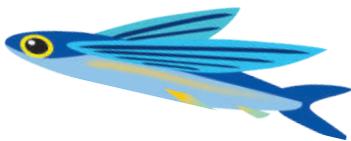
放射線技師の**樺山 貴史**です。
出身地：鹿児島市
趣味・特技：バイク・ジョギング
アニメ鑑賞・読書など多趣味です。
聴力がとても良いです。
種子島医療センターにきて良かった
と思えるような挨拶や声掛けをして
いこうと思います。よろしくお願いします。



外科医師の**富田 実代**です。
出身地：大阪府
趣味・特技：読書
よろしくお願いします。



外来看護師の**安藤 沙由里**です。
出身地：西之表市
趣味・特技：漫画を読むこと
種子島に帰ってきました。よろしく
お願いします。



～転倒転落防止委員会より～

病院でも転倒するの!?



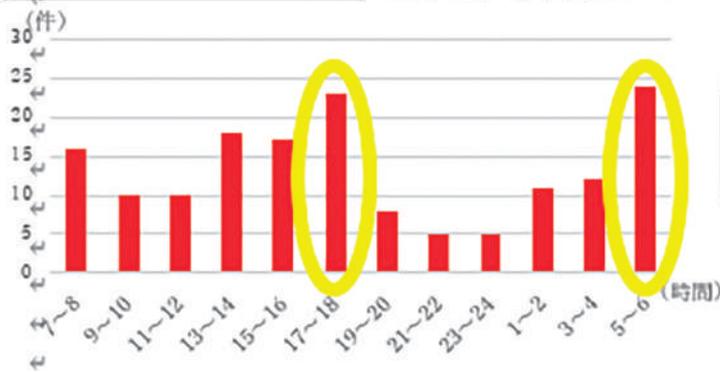
- 病院でも転倒があるって知ってる～?
- え～そうなの!? どんな時に転倒が起きるのかな?
- 当院での1年間の転倒データをみて考えてみよう!



当院の転倒転落防止委員会より、病院でも転倒が起ることを知っていただくために、ポスターを作成し注意喚起を行っています。病院にいれば安全、安心だと思っている方もいらっしゃると思います。当院の昨年の転倒件数、転倒の起こりやすい時間帯を示すことで病院でも安全とは限らないということをわかりやすく伝えるためにポスターを作成しました。

転倒が多い時間帯

*R2年9月～R3年8月のデータ

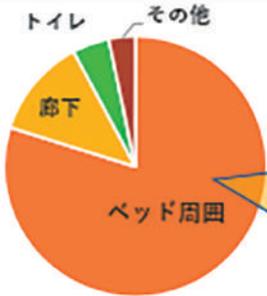


食事前後の時間帯に多い!!



場所・要因

*R2年9月～R3年8月のデータ



- 〈要因〉
- 1位 「トイレに行きたい」
 - 2位 認知機能の低下
 - 3位 整容
- ベッドからの滑り落ち

病気による体の変化や慣れない環境もあって転倒に注意が必要だね!



当院の予防対策

- * 院内スリッパの禁止とポスター喚起
- * 病棟カンファレンスや委員会での情報共有
- * 月に1回の病棟ラウンドチェック
- * 目で見て分かる危険度表の作成
- * センサーマットや転倒予防バーの設置



このポスター喚起でひとりひとりが心掛けてスリッパが原因の転倒・骨折がなくなったんだね!



このようなポスターを作成し、病院内に掲示することで病院に来る方だけでなく、私たち医療従事者も転倒に対する意識が高くなります。今後も転倒には十分に注意し、一件でも減少するよう心掛けていきます。

(リハビリテーション室 吉村祐佳里)

作成日: R3年10月10日
 作成者: 転倒転落防止委員会 上原瑞生(PT)・岩本瑠奈(PT)

外来担当医表

令和3年11月1日現在

診療科	診察時間	月	火	水	木	金	土
内科	9:00 ~ 12:30	島田/松本	高尾院長 島田/竹内	島田/窪菌/伊集	窪菌/松本/伊集	島田/伊集 松本 (予約のみ)	会長/島田 当院常勤医師
	14:00 ~ 17:00	島田/伊集	島田/伊集			島田/伊集	島田/当院常勤医師
循環器内科	9:00 ~ 12:30	田上理事長 鹿児島大学より	田上理事長	中央病院より	田上理事長 鹿児島大学より	田上理事長 鹿児島大学より	鹿児島大学より (要予約)
外科	9:00 ~ 12:30	濱之上	/	濱之上/出先		濱之上	出先
	14:00 ~ 17:00						
午後は、手術により休診になることがあります。事前に受付へご確認ください。							
整形外科	完全予約制	前田/三重/里中	前田/三重/里中 (一人は、交替で公立HPへ)	前田/三重/里中 ※初診のみ※	前田/三重/里中	前田/三重 鹿児島大学より (不定期)	/
		/	/	/	/	鹿児島大学より	
脳神経外科	9:00 ~ 12:30	駒柵	駒柵	駒柵	駒柵 再診・受付 10時まで	鹿児島大学より	鹿児島大学より (要予約) 鹿児島市立病院より (不定期)
眼科	9:00 ~ 12:30	田上純真 ※午後手術により 休診の場合あり	田上純真	田上純真 ※午後手術により 休診の場合あり	田上純真	田上純真	田上純真 (コンタクト外来) ※休診の場合あり
	14:00 ~ 17:00		/		/		
小児科	9:00 ~ 12:30	岡田/森山	岡田/森山	岡田/森山	岡田/森山	岡田/森山	岡田/森山 (代診の場合あり)
	14:00 ~ 17:00						

午前の受付時間 ⇒ 11時30分まで。 午後の受付時間 ⇒ 16時まで。

医師不在や手術等による休診。診療時間及び、医師変更の場合もございます。(詳細は受付へお問い合わせ下さい)

専門外来日程表

令和3年11月1日現在

診療科	診療日	受診方法	医師派遣元
泌尿器科	毎週	予約なしでも可	鹿児島大学病院
	月		中目康彦医師
耳鼻咽喉科	毎週	予約なしでも可	鹿児島大学病院
皮膚科	毎週	予約なしでも可	瀬戸山 充医師
			鹿児島大学病院
腎臓内科	毎週	要予約	種子島医療センター
消化器内科	毎週	要予約	種子島医療センター
呼吸器内科	毎週	要予約	鹿児島大学病院
糖尿病内科	毎週	要予約	種子島医療センター
神経内科	毎週	要予約	鹿児島大学病院
血液内科	月に2日	要予約	いづろ今村病院
心療内科	第1・3	要予約	鹿児島大学病院
	第2・4		
循環器内科 (ペースメーカー)	第3	要予約	鹿児島医療センター
肝臓内科	第1~4	要予約	鹿児島大学病院
禁煙外来	毎週	要予約	種子島医療センター
ペインクリニック	月に2日	要予約	鹿児島大学病院
小児発達外来	第1・3	要予約	種子島医療センター

診療日に変更がある場合もございますので、詳細は受付までお問い合わせ下さい。

きらきらギャラリーの紹介

当院の4階回復期リハビリ病棟の食堂に、きらきらギャラリーが出来ました。入院患者様が、作業療法活動内で作成した作品を展示しています。作品を展示されることで、患者様の活動意欲・創作意欲にも繋がります。また、社会参加につなげたり主に鑑賞目的の離床につなげたりするエリアにもなっています。

(リハビリテーション室 中森純香)



編集部

朝晩の寒暖差は増してきましたが、その反面、日中は過ごしやすく秋を感じさせる日和になりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。▼新型コロナウイルスに対する緊急事態宣言も解除され、外食や旅行に対する制限も緩和する動きがみられてきました。制限緩和後の感染対策も油断することなく徹底して行っていきたいと思います。▼島内では、10月にH2Aロケット44号機の打ち上げが無事成功しましたね。院内でも患者様とロケットの打ち上げを見届けることができて、打ち上げ後は拍手と笑顔に包まれました。▼今年も残りわずかとなり、寒さ厳しく忙しい師走がやってきます。皆様も新型コロナウイルスの感染症にお気をつけてお過ごし下さい。

(リハビリテーション室 吉村祐佳里)

記事募集 知

へいじろうでは、記事を募集しております。載せて欲しいという原稿や、書いてほしい記事の要望など、何でも結構ですので、編集部員まで御一報ください。

〈編集部員〉

吉村祐佳里 (リハビリテーション室)
中森純香 (リハビリテーション室)
加世田和博 (地域医療連携室)
坂口健 (地域医療連携室)

誌名「へいじろう」由来

種子島では飛魚のことを「とつぴー」と呼び、その小型のものは「へいじろう」と呼ばれています。

種子島医療センターでは、年報「飛魚」を年1回発刊し、院外広報誌「へいじろう」を年4回発刊しています。

社会医療法人義順顕彰会



種子島医療センター

理事長 田上寛容

病院長 高尾尊身

〒891-3101

鹿児島県西之表市西之表7463

TEL (代) 0997-22-0960

FAX (代) 0997-22-1313

E-mail; master@tanegashima-mc.jp

HP; http://www.tanegashima-mc.jp/

種子島医療センター 理念

島民の皆様に愛され
信頼される病院

私たちは、思いやりの心と
技術を研鑽する真摯な姿勢で
豊かな地域医療の向上に努めます。